



久原 大輝

Vリーグが開幕して6試合を終えた。山口市と米子市のホームゲームでは会場中が緑一色に染まり、選手の大きな力となった。

その中で新井雄大、坂下純也、西村信のルーキー3選手が早速、コート上で存在感を発揮している。新井選手は高さを生かしたスパイクやブロックで、チームの点取り屋として活躍。攻撃

ルーキー3人存在感

力にたけている分、サーブでターゲットにされることもあるが、それ以上に得点を量産してほしいと願っている。

坂下選手は、派手さはないが、堅い守備や速い攻撃で玄人好みのプレーが光る。アウトサイドとしては小柄な分、身体に負担が多いので、けがには十分気を付けてほしい。

西村選手は今季からリベロに本格転向し、10月24日のサントリー戦で初スタメンを勝ち取った。身体能力を生かしたレシーブと、持ち前のリリーディングでチームに貢献した。難しいボールに対しての反応は天下一品だが、簡単なボールへの対応やチームのリズムをつくるパスが出せるようになって、さらに活躍の幅が広がるだろう。

ルーキーにとって、未知の戦いが続くが、1日ずつ悩み苦しみなから成長してほしい。1人のサンダーズOBとして彼らへエールを送りたい。

試合中に会話する西村(左)、坂下(中)、新井の各選手